

受理番号及び 受理年月日	所 管	件 名 及 び 要 旨	提出者及び紹介議員
26年－7 (26. 6. 3)	福祉保健	<p>さらなる年金削減の中止を求める意見書の提出について</p> <p>▶請願理由</p> <p>一昨年11月16日には、衆議院解散に先立ちほとんど審議されることのないまま、3年間で年金を2.5%も削減する法律が成立した。</p> <p>「特例水準の解消」を理由としているが、これは2000年から2002年の3年間に消費者物価指数が下がったときに高齢者の生活と経済への悪影響を避けるために年金を据え置いたために現在の年金水準が高いままになっているというものである。</p> <p>しかし、灯油など生活必需品の値上げ、各種控除の縮小による増税、社会保険料の増額などのあいつぐ引き上げなどで高齢者の生活が厳しさを増しているいま、10年以上も以前の理由で年金を引き下げるとは、高齢者の生活に甚大な影響を与える。</p> <p>昨年12月に年金額の改定通知が届いて以来、多数の受給者が行政不服審査請求を行い、その数は12万6千人を超えるに至った。『物価が上がり、消費税が増税される中で、これ以上年金が削減されたら、生活が成り立たなくなる』という高齢者の怒りがうねりになって大きな数になった。</p> <p>年金削減は消費を冷え込ませ、不況を一層深刻にし、国の経済にも負の影響を与えることが懸念される。地域経済にも大きな影響を及ぼす。安倍首相は、『経済の好循環』を経済政策の柱にしているが、年金のさらなる削減は、それに逆行するものである。</p> <p>さらに2.5%削減につづいて「マクロ経済スライド」の実施および改悪による連続的な年金削減が計画されている。また、年金制度の改悪によって、若者を中心に年金離れが一層進み、年金制度への信頼はさらに低下することが懸念される。</p>	<p>全日本年金者組合鳥取県東部支部 支部長 市谷尚三 (鳥取市相生町四丁目402－33)</p> <p>(紹介議員) 市谷知子 錦織陽子</p>

		<p>▶請願要旨 高齢者の生活と地域経済を守るためにも、次の事項の意見書を国へ提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none">・年金のさらなる削減を中止すること。	
--	--	--	--